

市政記者各位

2025 年 4 月 24 日
福岡市博物館



『新修 福岡市史 ブックレット・シリーズ』では、これまで第一弾『わたしたちの福岡市-歴史とくらし-』で福岡の歴史文化を子どもに伝える大人向けの内容を、第二弾『シーサイドももち-海水浴と博覧会が開いた福岡市の未来-』で狭い地域の歴史を紐解くことが都市の大きな歴史と将来を明らかにすることにつながることを発信してきました。

第三弾となる『ふくおか歴史探検隊』では、二人の小学生「てるお」と「もも」が、街角の何気ない風景の中に、実は外国との交流で繁栄してきた福岡市の歴史が隠されていることを、読者と一緒に明らかにしていく内容です。

この『ふくおか歴史探検隊』を 4 月 30 日から店頭で販売開始することに加え、いつでもどこでも閲覧・学習できるように「福岡 TSUNAGARU Cloud」で配信します。本取組みの周知・広報にご協力のほどよろしくお願いいたします。

◎ 本の概要

書名：新修 福岡市史 ブックレット・シリーズ③ ふくおか歴史探検隊

版型：A5 判/並製本/オールカラー160 頁

編集：福岡市史編集委員会

発行：福岡市

発売：株式会社梓書院（博多区千代 3-2-1）

発売部数：1,500 部

発売日：2025 年 **4 月 30 日**（予定）

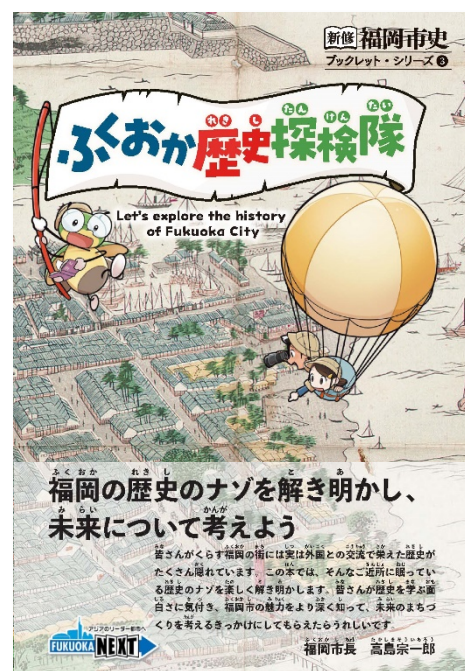
価格：1,980 円（税込）

販売場所：福岡市博物館ミュージアムショップ、市内書店、オンライン書店

※市内小中学校及び公民館へ配布済

◎ 福岡 TSUNAGARU Cloud（ふくおかつながるクラウド）とは…

福岡市教育委員会が提供している、インターネットを通じて、学習に活用する情報を共有する福岡市専用のクラウドです。いつでもどこでも学習に利用できる学習コンテンツを配信しています。



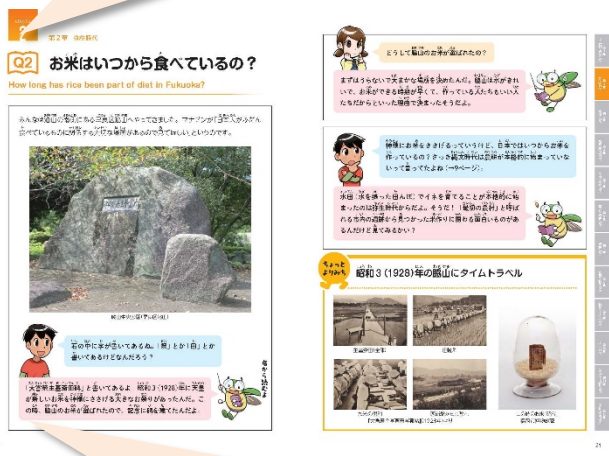
【お問い合わせ先】

福岡市博物館 市史編さん室 杉山 TEL：092-845-5011

◎内容（目次抜粋）

福岡にはいつから人が住んでいるの？/お米はいつから食べているの？/干支はいつから使われているの？/昔から外国との仲は良かったの？/「コーロカン」って何？/四角くて細長い石のナゾ/海を見つめる巨大な2体の銅像/博物館だよりのタイトルが「Facata」？/「タイコー〇〇」って何？/どうして長崎に博多があるの？/明治になって博多港はどうなった？/福岡には「アジア」がいっぱい？

POINT 1：本文中のすべての漢字にルビ付き

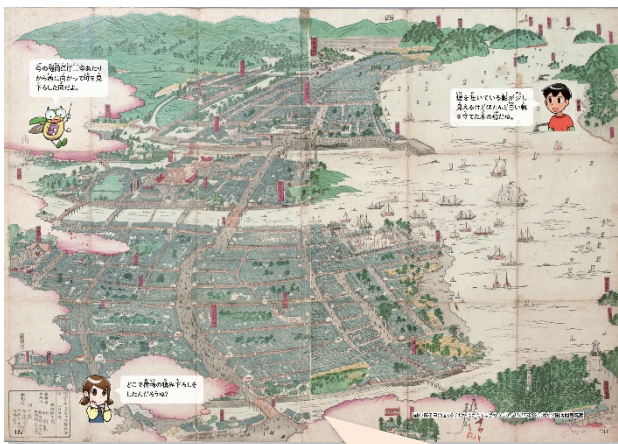


POINT 2：小学校で学習する時代ごとのインデックス



POINT 3：キャラクターが会話をしながら進む展開で親しみやすく

POINT 4：地図で自分の住んでいる地域とのかかわりを確認



POINT 5：豊富な写真や絵図・地図で理解を促進



POINT 6：実物大写真で資料の大きさを実感

【お問い合わせ先】

福岡市博物館 市史編さん室 杉山 TEL：092-845-5011